

シンポジウム ごみ有料化

～その取り組み・成果・課題～

ごみ減量の切り札として、全国の自治体で導入が進むごみ有料化。近年は京都市・福岡市といった政令指定都市でも実施されるなど、有料化の流れはますます加速しています。しかしその一方で、有料化した当初はごみが減っても、市民が慣れてくる数年後には再び増加に転じるリバウンド現象も見られ、有料化が成功している自治体ばかりとは限りません。本シンポジウムでは、有料化問題の第一人者・山谷修作教授(東洋大学経済学部)を迎えて基調講演をいただくとともに、環境省と有料化を実施した代表的な自治体3団体をパネラーに迎えて、山谷教授による進行のもと多面的に有料化の成果や課題について語り合います。

- ◆日時 2008年11月26日(水) 午後1時30分～4時30分(開場1時)
- ◆会場 東京都大田区 大田区産業プラザPiO・4階コンベンションホール
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20 TEL 03-3733-6600
京浜急行蒲田駅下車東口より徒歩3分
JR京浜東北線・東急池上・多摩川線蒲田駅下車東口より徒歩13分
- ◆入場料 無料
- ◆定員 180人 先着順。裏面の申込書にご記入のうえ、ファックスまたは郵便でお申し込みください。必要事項をご記入のうえメールでお申し込みいただいても構いません。申込受付が済み次第、折り返し受付票をお送りします。当日はこの受付票をご持参ください。

第1部 基調講演



講師 東洋大学経済学部 山谷修作教授
(プロフィール) 専攻は環境政策。主な著書に『ごみ有料化』(丸善、公益事業学会賞受賞)、『実践・家庭ごみ有料化』(環境産業新聞社、共著)、『日本の公益事業』(白桃書房、共編著)、『ごみの百科事典』(丸善、共著)など。主な政府・自治体関係委員に経済産業省独立行政法人評価委員会臨時委員、中野区廃棄物減量等推進審議会会長、朝霞市清掃業務に係る専門委員会会長など。

第2部 シンポジウム

パネラー

環境省大臣官房廃棄物リサイクル対策部廃棄物対策課
水谷好洋氏
全国的な有料化の状況や「有料化ガイドライン」の内容などについてお話いただけます。

東京都日野市環境共生部ごみゼロ推進課 課長
原正明氏
市民と行政の協働に基づく有料化によるごみ減量の代表的な成功事例として全国的に有名です。

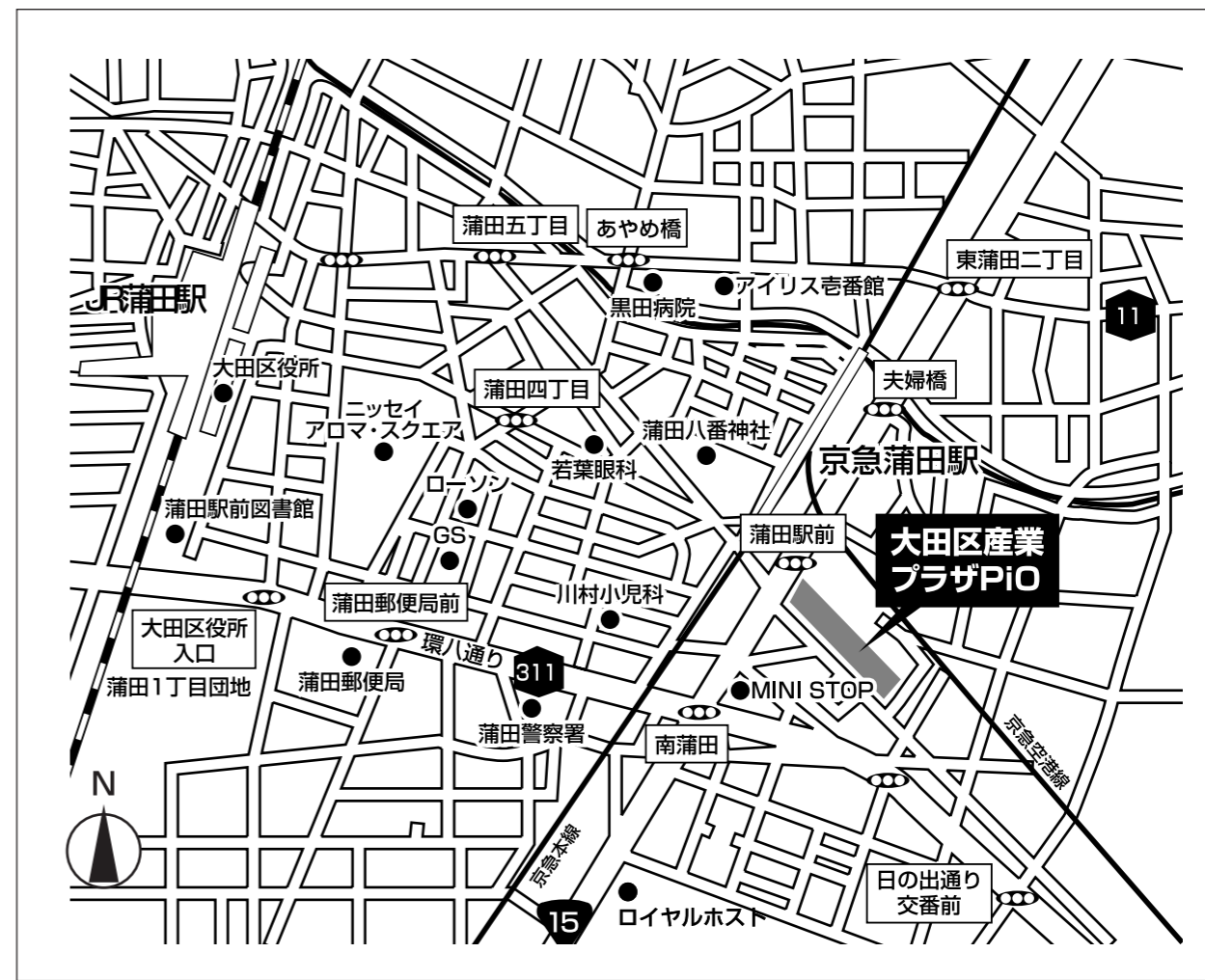
長野県上伊那広域連合環境衛生課 課長補佐
唐澤修身氏
広域連合加盟の10市町村が共同し、二段階有料制によって約2割のごみ減量を維持しています。

新潟県上越市市民生活部生活環境課 課長
矢澤正勝氏
2008年4月、燃やせるごみ・燃やせないごみ・生ごみの3種類で有料化しました。

コーディネーター 東洋大学経済学部 山谷修作教授

【お申し込み・お問い合わせ先】 特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会 担当：北井
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1-3-4 小池高麗橋ビル4階
電話 06-6209-7155 FAX 06-6209-6685 メール info@r-kyokai.org

会場案内図



京浜急行線を利用 京急蒲田駅東口より徒歩3分、東口に降りて、川崎方面(右)へ向かい、京浜急行空港線の踏切を渡って一つ目の信号の国道を渡った所になります。
◆東京駅から35分 東京駅(JR山手線) → 品川駅(京浜急行本線) → 京急蒲田駅
◆羽田空港方面から約10分 京急空港線羽田空港駅から京急蒲田駅まで快特利用で最短9分で直結
◆成田空港方面から最短1時間39分 京成成田空港駅から京急蒲田駅までエアポート快特利用で最短1時間39分で直通
JR京浜東北線・東急池上・多摩川線を利用 蒲田駅東口より徒歩13分

自動車を利用 首都高速羽田線下り線 鈴ヶ森ランプを出て一つ目の信号を右、道なりに第一京浜(約10分)
首都高速羽田線上下線 羽田ランプを出て環八通りを蒲田方面へ(約7分)

「シンポジウム ごみ有料化 ～その取り組み・成果・課題～」参加申込書

お名前 所属(あれば)

住所 〒

電話番号

この申込書は、ファックスまたは郵便で、下記宛までお送りください。
受付が済みしたら折り返し受付票をお送りしますので、当日は受付票をご持参ください。

特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会 FAX. 06-6209-6685
郵便 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1-3-4小池高麗橋ビル4F